

国立交通大学(台湾)と千葉大学分子キラリティー研究センター
において共同実験室の設置に関する MOU を締結しました。



国立交通大学理学院長
陳 永福 (Yung-Fu Chen) 教授

千葉大学分子キラリティー研究センター長
尾 松 孝 茂 教授

平成30年4月17日(火)に新竹の国立交通大学(台湾)に尾松教授(分子キラリティー研究センター長)が訪問し、千葉大学分子キラリティー研究センターと国立交通大学の共同実験室の設置に関するMOU調印式が執り行われました。

千葉大学分子キラリティー研究センターでは、物質のキラルな構造や物性を光で制御する学術研究「キラリティー物質科学」の世界的学術研究拠点として活動しています。

当該研究分野において世界トップレベルの学術研究活動を行っている国立交通大学理学院(台湾)と共同実験室の設置することで、両大学間の活発な共同研究、研究者交流を強力に促進します。また、このような国際連携体制を構築することで、千葉大学が「キラリティー物質科学」における学術拠点であることを世界にアピールできるとともに、千葉大学における学術研究のさらなる発展につながります。